

公開シンポジウム

下北の石器時代

東通村尻労安部洞窟の調査成果



2015.11.7[sat] むつ来さまい館 ☒ 入場無料
13:00 ~ 17:30 (open 12:30) イベントホールB ☒ 申込不要

【主催】尻労安部洞窟発掘調査団 【共催】東通村教育委員会・むつ市教育委員会

【助成】科学研究費(基盤B)「本州最北部における更新世人類集団の学際的調査・研究」(研究代表者: 慶應義塾大学 佐藤孝雄)

科研費
KAKENHI



下北半島に
私たちの過去を探る

2001年に開始された東通村尻労安部洞窟の発掘調査は今年で15年目の節目を迎えるに至りました。このシンポジウムでは、同発掘調査によって得られた本州最北部の石器時代に関する新知見を報告し、日本列島に暮らす私たちの来歴も探ります。



下北さ来さまい

公開シンポジウム

下北の石器時代

東通村尻労安部洞窟の調査成果



尻労安部洞窟を擁する桑畑山（東通村）

PROGRAM シンポジウム プログラム

11/7 sat

12:30 開場

13:00～13:05 挨拶 東通村教育委員会教育長

13:05～13:15

シンポジウムの趣旨 佐藤孝雄

13:15～14:00

[基調講演] 下北の考古学 工藤竹久

休憩(15分)

14:15～14:35

下北半島の遺跡のデータから見た本州北部の後期更新世哺乳動物相 河村善也・河村愛

14:35～14:55

旧石器時代人の狩猟活動とその季節性 澤浦亮平・澤田純明・佐藤孝雄

14:55～15:15

尻労安部洞窟から出土した縄文人骨の化学分析
—本州最北端の縄文人の食生活と旧石器時代の生業研究への展望—
米田 穰

15:15～15:35

尻労安部洞窟から出土した縄文時代人骨のDNA解析 安達 登

休憩(15分)

15:50～16:10

石器は海峡を越えたか

—下北半島北端から出土した二種類の刺突具の系譜をめぐって—
渡辺丈彦・平澤 悠

16:10～16:30

旧石器時代人の石材利用 鈴木哲也

16:30～16:50

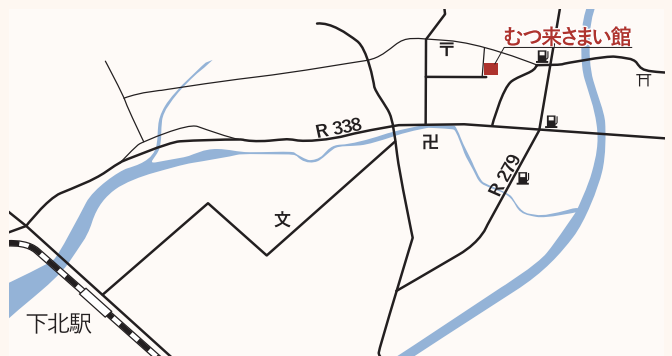
更新世人類化石探索の重要性 奈良貴史・鈴木敏彦

16:50～17:10

尻労安部洞窟と岩宿(旧石器)時代観 鈴木忠司

17:10～17:25 質疑応答

17:25～17:30 挨拶 奈良貴史



むつ来さまい館 [青森県むつ市田名部町10-1]

EXCURSION 現地見学(要事前申込)

11/8 sun

尻労安部洞窟、物見台遺跡、東通村歴史民俗資料館、最花貝塚の見学ツアーを予定しております。ご関心をお持ちの向きは、事前にお申込みの上、ふるってご参会ください！

【日時】2015年11月8日(日) 9時～

【費用】無料

【集合場所】むつ来さまい館前駐車場

*移動はツアーバス(先着30名)を予定しておりますが
自家用車でもご参加いただけます。

【お申込み期限】2015年10月31日(土)

【お申込み先】〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室 佐藤孝雄

Fax: 03-5427-1425

E-mail: shitsukariabe.contact@gmail.com

*郵送・Fax・E-mailのいずれでもお申込みいただけます。